

2. 調査の集計結果

2-1 観光客の現状

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内主要観光地点における観光客の入込・遊覧状況等を把握するためアンケート調査を実施した。

②調査日時等

●観光施設（名古屋城、熱田神宮、ノリタケの森、名古屋港水族館）調査

・秋期調査：平成21年11月4日（水）9：30～16：00 天候：晴

11月7日（土）9：30～16：00 天候：快晴

11月8日（日）9：30～16：00 天候：薄曇後晴

・春期調査：平成22年3月3日（水）9：30～16：00 天候：晴一時薄曇

3月6日（土）9：30～16：00 天候：雨一時曇

3月7日（日）9：30～16：00 天候：雨

※熱田神宮、ノリタケの森は3月13日（土）9：30～16：00 天候：曇一時雨

3月14日（日）9：30～16：00 天候：快晴

●名古屋まつり調査：平成21年10月4日（日）11：00～16：00 天候：快晴

●イベント会場（ポートメッセなごや）調査

・名古屋モーターショー：

平成21年11月21日（日）10：00～16：00 天候：晴一時曇

・ウィンタースポーツフェスタ 他：

平成22年2月7日（日）11：00～16：00 天候：快晴

③調査方法

それぞれの調査地点を訪れた観光入込客のうち、10歳以上と思われる観光入込客に対して、等間隔無作為抽出法により調査対象を抽出し、対面聞き取りにより年齢を確認した上で調査を行った。

④調査場所及び調査サンプル数

観光地点を全国観光統計基準に基づく分類（注）や施設・催し物の特性、所在地を勘案して、以下の地点で調査を実施した。

観光地点名称	秋期調査（11月）			春期調査（3月）			合 計
	平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜	
名古屋城	110	104	103	111	105	113	646
熱田神宮	105	104	105	105	105	104	628
ノリタケの森	100	105	105	105	105	105	625
名古屋港水族館	105	105	105	105	105	104	629
名古屋まつり	524						524
イベント会場 (ポートメッセなごや)	(名古屋モーターショー) 264			(ウインタースポーツフェスタ他) 266			530
全 体							

（注）大分類「学ぶ（見る・体験する）」・中分類「文化・歴史」として「名古屋城」と「熱田神宮」、「名古屋港水族館」、同・中分類「産業観光」として「ノリタケの森」、大分類「触れ合う（交流する）」・中分類「行・祭事」として「名古屋まつり」、同・中分類「イベント」として「ポートメッセなごや」に協力していただきました。

(2) 調査結果

①居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

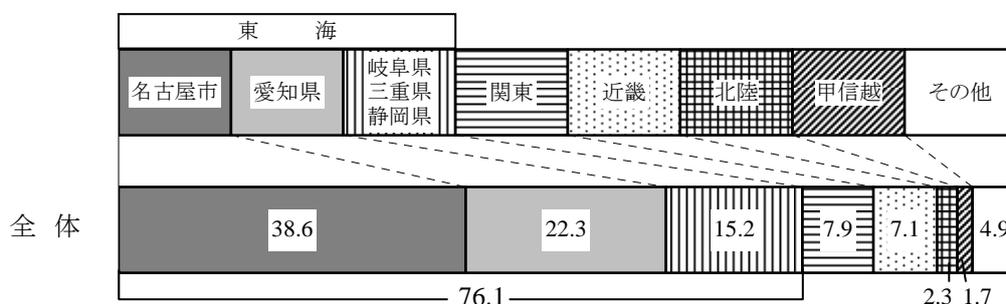
観光入込客の居住地は、全体では「名古屋市」が38.6%と最も多く、次いで「愛知県（名古屋市を除く）」（22.3%）で、「岐阜県」（6.4%）、「三重県」（4.9%）、「静岡県」（3.9%）を合計した「東海」が76.1%を占め、「関東」（7.9%）、「近畿」（7.1%）など「東海以外」の地域からの入込客は全体で23.9%である。

観光地点別にみると、「名古屋まつり」（75.0%）、「熱田神宮」（52.4%）の入込客では「名古屋市」居住者の構成比が高く、また、「名古屋まつり」（97.5%）、「イベント会場」（97.2%）の入込客では大半が「東海」居住となっている。一方、「名古屋城」では「東海以外」の地域が54.3%と広域的に集客している。

表 2-1-1 入込客の居住地構成（観光地点別）

（単位：％）

観光地点	東海				関東	近畿	北陸	甲信越	その他	合計
	名古屋市	愛知県 (名古屋市を除く)	岐阜県・三重県・静岡県							
名古屋城	45.7	23.7	13.6	8.4	22.0	15.8	5.9	0.9	9.7	100.0
熱田神宮	80.1	52.4	18.3	9.4	7.0	5.4	1.1	2.4	4.0	100.0
ノリタケの森	64.0	27.5	16.6	19.9	10.6	12.2	1.4	0.8	11.0	100.0
名古屋港水族館	80.0	25.0	26.2	28.8	3.5	5.4	3.3	4.6	3.2	100.0
名古屋まつり	97.5	75.0	17.9	4.6	1.3	0.6	0.0	0.6	0.0	100.0
イベント会場	97.2	34.0	44.0	19.2	0.4	0.9	1.1	0.4	0.0	100.0
全体	76.1	38.6	22.3	15.2	7.9	7.1	2.3	1.7	4.9	100.0



注：愛知県は名古屋市を除く

東海—愛知県・岐阜県・三重県・静岡県

関東—東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県

近畿—滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県

北陸—福井県・石川県・富山県

甲信越—新潟県・長野県・山梨県

図 2-1-1 入込客の居住地構成

b. 性・年齢構成

全体では「30～39歳」(19.3%)が約2割と多く、「60～69歳」(18.0%)、「20～29歳」(17.6%)、「50～59歳」(16.9%)、「40～49歳」(15.9%)が16～18%で続き、以下「70歳以上」(7.6%)、「10～19歳」(4.7%)となっている。

性別は、男性が46.6%、女性が53.4%と、女性の方が男性より若干多い。

男性女性とも「30～39歳」が最も多く、「60～69歳」も比較的多くなっている。

観光地点別にみると、「29歳以下」の若い世代の割合は「名古屋港水族館」(36.1%)と「名古屋城」(33.0%)で高くなっている。一方、「60歳以上」の割合は「ノリタケの森」(31.7%)と「名古屋まつり」(30.2%)、「熱田神宮」(30.0%)では3割以上となっている。

性別の割合は、「名古屋港水族館」では男性女性ほぼ半々である。「名古屋城」と「熱田神宮」、「名古屋まつり」では若干、「ノリタケの森」ではかなり女性の方が多い。一方、「イベント会場」では男性の方が多くなっている。

表 2-1-2 入込客の地点別性・年齢構成

(単位：%)

性別	観光地点	年 齢							
		10～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上	合 計
全 体	名古屋城	7.3	25.7	12.5	10.2	15.5	19.0	9.8	100.0
	熱田神宮	3.0	11.6	21.8	18.0	15.6	21.4	8.6	100.0
	ノリタケの森	2.6	12.3	15.5	15.8	22.1	22.9	8.8	100.0
	名古屋港水族館	8.1	28.0	25.4	14.3	9.9	11.3	3.0	100.0
	名古屋まつり	2.5	9.5	18.9	19.3	19.6	19.3	10.9	100.0
	イベント会場	4.2	16.6	22.4	18.9	19.6	13.4	4.9	100.0
	合 計	4.7	17.6	19.3	15.9	16.9	18.0	7.6	100.0
男 性	名古屋城	7.7	29.2	13.8	11.4	10.7	17.5	9.7	46.1
	熱田神宮	2.4	10.5	21.3	21.4	15.6	20.0	8.8	47.0
	ノリタケの森	4.6	11.4	16.9	16.9	20.1	21.9	8.2	35.0
	名古屋港水族館	5.4	26.0	24.4	17.6	10.3	13.1	3.2	49.6
	名古屋まつり	2.4	10.9	17.0	19.0	18.6	19.1	13.0	47.1
	イベント会場	5.7	18.4	21.0	16.3	20.0	12.3	6.3	56.6
	合 計	4.8	18.3	19.3	17.0	15.6	17.0	8.0	46.6
女 性	名古屋城	6.9	22.7	11.5	9.2	19.5	20.4	9.8	53.9
	熱田神宮	3.6	12.6	22.2	15.0	15.6	22.6	8.4	53.0
	ノリタケの森	1.5	12.8	14.8	15.3	23.1	23.4	9.1	65.0
	名古屋港水族館	10.7	30.0	26.5	11.0	9.5	9.5	2.8	50.4
	名古屋まつり	2.5	8.3	20.6	19.5	20.6	19.5	9.0	52.9
	イベント会場	2.2	14.3	24.4	22.2	19.1	14.8	3.0	43.4
	合 計	4.6	17.0	19.4	14.9	18.0	18.8	7.3	53.4

注：男性・女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

②旅行の内容

a. 今回の主な目的

旅行の主な目的は、「観光施設の見学」(48.1%)が半数近くを占め、次いで「イベント」(33.8%)が多く、これらをはじめとする「観光・娯楽」目的者の割合は合わせて87.2%を占めている。

時系列にみると、調査概要は平成18年度から変更しているものの、「観光・娯楽」の割合は8割台で推移している。

観光地点別にみると、「名古屋港水族館」(89.0%)、「名古屋城」(62.3%)、「熱田神宮」(60.6%)「ノリタケの森」(58.7%)の入込客では「観光施設の見学」目的が多く、「イベント会場」(96.3%)と「名古屋まつり」(91.9%)の入込客では大半が「イベント」目的である。また、「ノリタケの森」では「ショッピング」(7.4%)や「飲食」(6.2%)目的の割合が相対的にやや高く、「熱田神宮」では「七五三」を主とした「その他」(29.6%)目的の割合も高い。

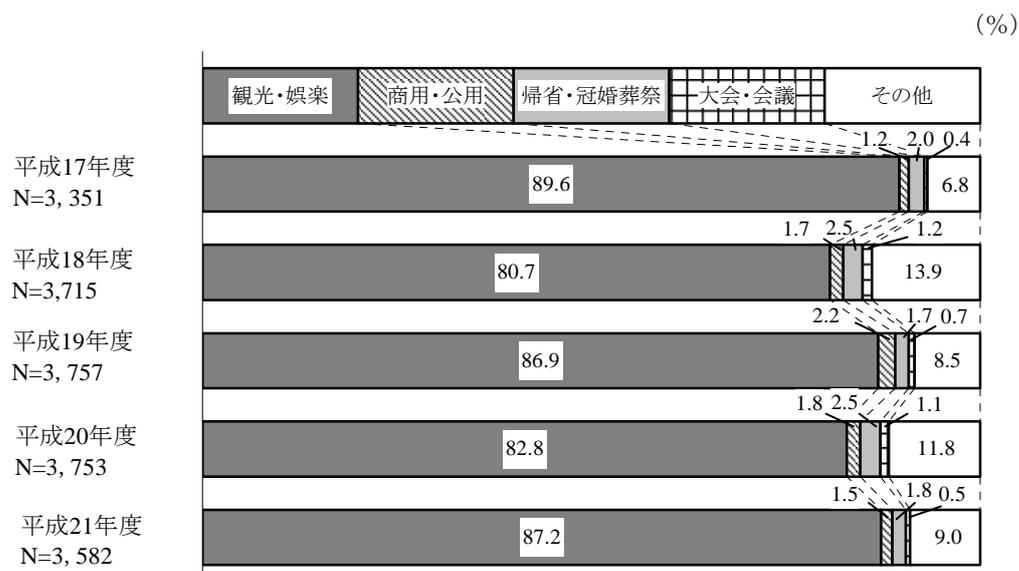


図 2-1-2 入込客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-1-3 入込客の主な旅行目的（観光地点別）

(単位：%)

旅行目的	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
観光地点											
名古屋城	62.3	0.8	0.8	23.8	2.5	0.8	1.4	3.7	1.1	2.8	100.0
熱田神宮	60.6	2.2	0.3	1.3	0.6	1.4	2.2	1.8	0.0	29.6	100.0
ノリタケの森	58.7	7.4	1.1	6.4	6.2	2.1	2.7	1.6	1.3	12.5	100.0
名古屋港水族館	89.0	1.0	0.3	2.5	1.0	0.8	1.1	1.9	0.5	1.9	100.0
名古屋まつり	1.5	0.8	0.0	91.9	0.0	0.4	0.0	1.0	0.0	4.4	100.0
イベント会場	1.1	0.0	0.2	96.3	0.0	0.0	0.9	0.2	0.0	1.3	100.0
全体	48.1	2.1	0.5	33.8	1.8	0.9	1.5	1.8	0.5	9.0	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」目的で来訪した方（全体の87.2%）の目的地として名古屋を選んだきっかけは、「前に来たことがあり良かったから」が37.2%と最も多い。以下、「友人・知人に薦められた」（16.7%）、「雑誌・新聞をみて」（12.6%）、「特になし」（10.9%）、「テレビやラジオ番組の情報」（8.4%）、「インターネットホームページの情報」（6.7%）となっている。

観光地点別にみると、「前に来たことがあり良かったから」は「名古屋港水族館」や「名古屋まつり」、「熱田神宮」では半数前後と多く、「ノリタケの森」と「名古屋城」では「友人・知人に薦められた」が最も多くなっている。また、「名古屋まつり」では「雑誌・新聞をみて」や「テレビやラジオ番組の情報から」などが比較的高く、「イベント会場」では「DM」を主とした「その他」（26.1%）の割合も高い。

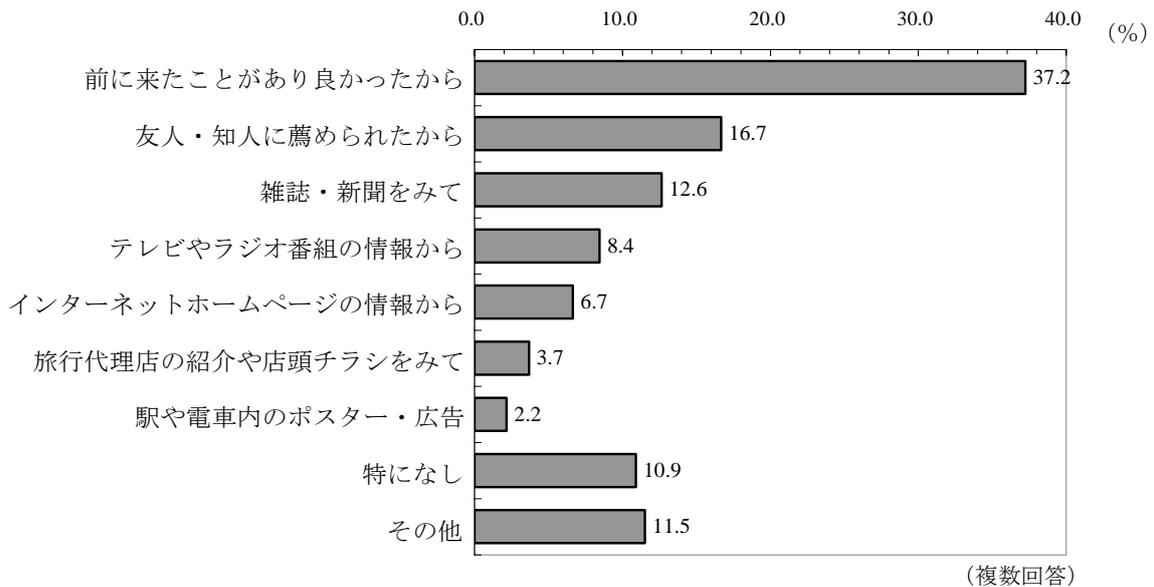


図 2-1-3 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳

表 2-1-4 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳（観光地点別）

(単位：%)

観光地点	前に来たことがあり良かったから	友人・知人に薦められたから	雑誌・新聞をみて	テレビやラジオ番組の情報から	インターネットホームページの情報から	旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて	駅や電車内のポスター・広告	特になし	その他	合計
名古屋城	23.1	26.0	15.3	8.0	5.6	4.3	1.9	20.9	8.2	113.3
熱田神宮	45.1	7.0	7.4	2.9	1.7	4.8	0.0	22.3	11.8	103.0
ノリタケの森	27.1	27.5	10.7	3.1	8.2	10.4	0.6	9.6	8.0	105.2
名古屋港水族館	52.1	11.1	7.9	3.7	7.9	2.5	0.2	10.1	10.4	105.9
名古屋まつり	46.4	12.9	23.4	16.9	4.0	0.4	8.7	2.8	5.0	120.5
イベント会場	31.1	13.2	10.8	16.1	11.4	0.0	1.9	0.4	26.1	111.0
全 体	37.2	16.7	12.6	8.4	6.7	3.7	2.2	10.9	11.5	109.9

(複数回答)

c. 観光施設への遊覧状況

観光地点相互の立ち寄り状況を見ると、「名古屋まつり」や「ノリタケの森」、「熱田神宮」の入込客は「名古屋城」にも、「名古屋城」の入込客は「熱田神宮」にも訪れる人が多い。

観光地点ごとに他の観光施設への訪問状況を見ると、上記のほか「名古屋城」の入込客は「テレビ塔」や「徳川園」にも訪れる人が多く、一人あたりの訪問施設数は1.74施設である。「熱田神宮」の入込客では「名古屋城」以外に4%に達する施設はなく一人あたりの訪問施設数は1.60と少ない。「ノリタケの森」の入込客は「産業技術記念館」や「徳川美術館」、「徳川園」、「ミッドランドスクエアなどの高層建築物」などにも訪れる人が多く、一人あたりの訪問施設数は1.97施設と他の施設への立ち寄りは最も多い。「名古屋港水族館」の入込客では「名古屋港」にも訪れるものの、そのほかは低く一人あたりの訪問施設数は1.60施設と少ない。

「名古屋まつり」の入込客では、「ランの館」をはじめ当日無料開放される施設にも訪れる人が多く、一人あたりの訪問施設数は1.75施設であるが、「イベント会場」の入込客では一人あたりの訪問施設数は1.22施設となっており、他の観光施設へも立ち寄る入込客は少ない。

全般に調査場所の近隣にある観光施設にも立ち寄っているケースが多い。

表 2-1-5 他の観光施設への遊覧状況（観光地点別）

（単位：％）

訪問施設 \ 観光地点	名古屋城	産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館
名古屋城		3.4	5.6	4.8	8.9	12.3	1.0	2.0	2.2	11.7	0.8	0.4
熱田神宮	18.6	1.0	0.4	1.9	1.2		2.9	2.7	0.2	3.7	0.2	0.0
ノリタケの森	18.7	15.2		8.7	6.4	6.2	0.4	1.5	0.6	5.0	0.6	0.4
名古屋港水族館	11.2	1.7	0.2	0.6	0.0	2.7	0.0	2.5	0.2	2.3	0.0	0.2
名古屋まつり	24.8	0.0	0.5	1.7	3.7	0.5	0.5	3.7	1.0	4.2	0.2	0.0
イベント会場	0.7	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.0	0.2	0.0

訪問施設 \ 観光地点	名古屋ポストン美術館	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	ランの館	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	ミッドランドスクエアなどの高層建築物	その他	平均訪問施設数
名古屋城	0.2	0.0	0.6	1.0	0.2	1.8	1.2	0.0	0.2	1.6	14.3	1.74
熱田神宮	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	3.5	2.1	0.0	0.4	3.5	17.4	1.60
ノリタケの森	1.0	1.0	0.2	1.5	1.0	2.3	0.8	0.0	0.6	5.8	18.5	1.97
名古屋港水族館	0.2	0.4	0.4	1.0	0.2		19.0	2.5	0.0	1.7	13.0	1.60
名古屋まつり	0.0	0.7	0.5	0.5	8.9	0.5	0.2	0.2	0.2	0.0	21.8	1.75
イベント会場	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	2.0	1.0	0.2	0.2	0.7	15.0	1.22

（複数回答）

※一人あたりの平均訪問施設数

平均訪問施設数は、各観光地点での調査サンプル数（a）とその観光地点・施設以外へ訪れた数及び訪れる予定数（b）の合計を調査サンプル数（a）で除した数値。

$$\text{平均訪問施設数} : 1.66 = \{3,582 (a) + 2,347 (b)\} \div 3,582 (a)$$

d. 旅行形態

全体では、「友人・知人」が 29.2%で、「幼児・小学生連れ」（18.7%）や「夫婦」（17.3%）など「家族連れ」が合計で 51.2%、「ひとり」が 14.2%となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」、「ノリタケの森」の入込客は「友人・知人」の割合が最も多く、次いで「夫婦」となっている。「熱田神宮」、「名古屋港水族館」の入込客は「幼児・小学生連れの家族」の最も多く、次いで「熱田神宮」では「ひとり」、「名古屋港水族館」では「友人・知人」となっている。また、「名古屋まつり」の入込客は「ひとり」の、「イベント会場」の入込客は「友人・知人」の割合がそれぞれ最も多いものの割合は比較的分散している。

表 2-1-6 入込客の旅行形態（観光地点別）

（単位：％）

観光地点	旅行形態	ひとり	友人・知人	家族連れ			団体		その他	合計
				幼児・小学生連れ	夫婦	その他	一般	学生		
名古屋城		6.5	46.7	4.2	21.8	17.0	3.1	0.2	0.5	100.0
熱田神宮		23.1	17.3	29.3	13.2	9.6	6.1	0.0	1.4	100.0
ノリタケの森		10.9	37.1	9.3	17.3	13.9	10.4	0.0	1.1	100.0
名古屋港水族館		6.4	31.6	33.1	9.2	11.8	7.6	0.0	0.3	100.0
名古屋まつり		24.8	15.3	18.9	21.9	18.9	0.0	0.0	0.2	100.0
イベント会場		15.7	23.6	17.3	21.7	21.5	0.2	0.0	0.0	100.0
全体		14.2	29.2	18.7	17.3	15.2	4.8	0.0	0.6	100.0

パッケージ旅行の割合は、全体では6.3%である。

観光地点別にみると、「パッケージ旅行」の割合は「ノリタケの森」の入込客では16.5%と調査地点の中で最も多く、「熱田神宮」、「名古屋港水族館」、「名古屋城」でも数%以上となっている。一方、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客ではほぼ全員が「パッケージ旅行ではない」としている。

地域別にみると、パッケージ旅行を利用する割合は、「甲信越」(41.7%)と「その他」(39.5%)からの入込客では4割と多く、「岐阜県・三重県・静岡県」や「近畿」、「北陸」、「関東」からの入込客でも1割前後が利用している。

宿泊客だけでなく、日帰り客でも「パッケージ旅行」を5.2%が利用している。

表 2-1-7 入込客のパッケージ旅行利用有無（地点・地域・宿泊別）

(単位：%)

旅行形態		パッケージ旅行	パッケージ旅行ではない	合計
観光地点	名古屋城	5.4	94.6	100.0
	熱田神宮	7.6	92.4	100.0
	ノリタケの森	16.5	83.5	100.0
	名古屋港水族館	6.0	94.0	100.0
	名古屋まつり	0.2	99.8	100.0
	イベント会場	0.0	100.0	100.0
地域	東海	2.9	97.1	100.0
	名古屋市	0.4	99.6	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	0.1	99.9	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	13.6	86.4	100.0
	関東	7.1	92.9	100.0
	近畿	9.4	90.6	100.0
	北陸	7.4	92.6	100.0
	その他	41.7	58.3	100.0
宿泊	宿泊客	12.2	87.8	100.0
	日帰り客	5.2	94.8	100.0
全体		6.3	93.7	100.0

③旅行費用

a. 旅行予算

旅行予算をみると、全体では「5,000円未満」が53.0%と最も多く、次いで「10,000～30,000円未満」(18.6%)、「5,000～10,000円未満」(18.4%)がそれぞれ18%台みられる。旅行予算の平均額は11,852円である。昨年度(12,423円)と比較すると571円の減額となっている。

観光地点別にみると、「10,000円以上」の割合は合わせて「名古屋城」(52.3%)や「ノリタケの森」(48.6%)の入込客では半数前後と多く、平均額は19,000円程度となっている。一方、「名古屋まつり」の入込客では「5,000円未満」が9割弱を占める。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「10,000～30,000円未満」が最も多く、かつ「30,000円以上」が半数弱みられ、平均額は34,852円と高額である。「名古屋市外からの日帰り客」では「5,000円未満」が最も多いものの半数未満であり、平均額は10,730円である。一方、「名古屋市内」では「5,000円未満」が8割以上を占め、平均額は4,000円弱となっている。

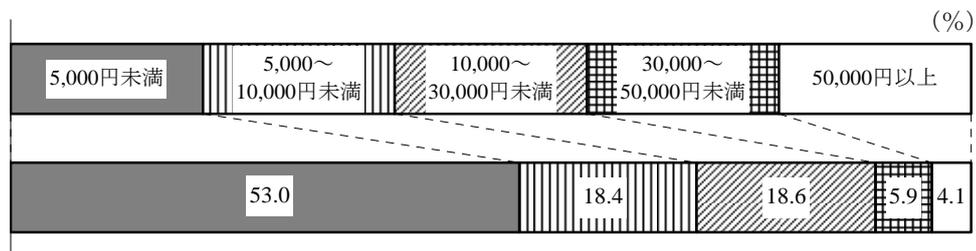


図 2-1-4 入込客の旅行予算

表 2-1-8 入込客の旅行予算(地点・地域×宿泊別)

(単位：%)

旅行予算		5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合計	平均額(円)
観光地点	名古屋城	31.5	16.2	33.9	10.3	8.1	100.0	18,980
	熱田神宮	57.9	17.3	14.9	6.1	3.8	100.0	11,032
	ノリタケの森	35.7	15.7	29.9	10.2	8.5	100.0	18,508
	名古屋港水族館	52.1	24.0	16.6	4.9	2.4	100.0	10,183
	名古屋まつり	88.6	7.5	2.7	1.0	0.2	100.0	3,838
	イベント会場	59.3	29.9	9.5	1.1	0.2	100.0	6,210
地域×宿泊	名古屋市内	83.7	12.8	3.3	0.1	0.1	100.0	3,858
	宿泊客	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	100.0	8,333
	日帰り客	83.6	12.9	3.3	0.1	0.1	100.0	3,848
	名古屋市外	33.7	21.9	28.3	9.5	6.6	100.0	16,879
宿泊客	1.4	5.2	48.1	26.1	19.2	100.0	34,852	
日帰り客	44.7	27.6	21.5	3.9	2.3	100.0	10,730	
全体		53.0	18.4	18.6	5.9	4.1	100.0	11,852

注：平均額の計算式：{(2,500円)×(「5,000円未満」の回答者数)+(7,500円)×(「5,000～10,000円未満」の回答者数)+(20,000円)×(「10,000～30,000円未満」の回答者数)+(40,000円)×(「30,000～50,000円未満」の回答者数)+(75,000円)×(「50,000円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

b. 名古屋市内消費額

観光入込客が名古屋市内で使う金額を具体的に尋ねたところ、全体では「5,000円未満」が44.4%と最も多く、次いで「5,000～10,000円未満」が27.9%、「10,000～20,000円未満」が15.5%、「20,000～30,000円未満」が6.6%、「30,000円以上」が5.6%となっている。名古屋市内消費額の平均額は7,827円である。昨年度（8,170円）と比較すると343円の減額となっている。

観光地点別にみると、平均額は、「名古屋城」の入込客では13,578円、「ノリタケの森」の入込客では10,025円と比較的高額である。一方、「名古屋まつり」（3,351円）の入込客では相対的に低額となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では過半数が「20,000円以上」で、平均額は21,596円と高額となっている。「名古屋市外からの日帰り客」では「5,000～10,000円未満」が最も多く、平均額は6,676円である。一方、「名古屋市内」では7割が「5,000円未満」である。

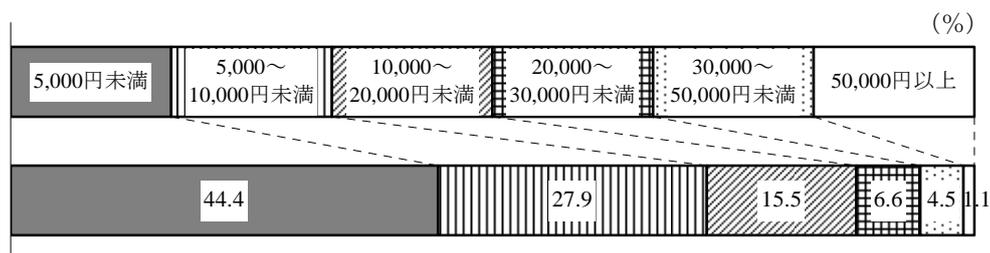


図 2-1-5 入込客の名古屋市内消費額

表 2-1-9 入込客の名古屋市内消費額（地点・地域×宿泊別）

(単位：%)

市内消費額		消費額区分						合計	平均額 (円)
		5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～20,000円未満	20,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上		
観光地点	名古屋城	28.7	16.5	25.8	15.4	10.1	3.5	100.0	13,578
	熱田神宮	49.4	27.7	13.9	5.8	2.7	0.5	100.0	6,447
	ノリタケの森	31.6	27.6	21.3	9.8	8.2	1.5	100.0	10,025
	名古屋港水族館	33.3	43.4	14.7	4.7	3.1	0.8	100.0	7,222
	名古屋まつり	75.2	20.9	2.7	0.8	0.4	0.0	100.0	3,351
	イベント会場	55.5	30.3	11.6	1.4	1.0	0.2	100.0	4,987
地域×宿泊	名古屋市	69.9	23.4	5.7	0.6	0.3	0.1	100.0	3,592
	宿泊客	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	100.0	7,000
	日帰り客	69.9	23.5	5.6	0.6	0.3	0.1	100.0	3,585
	名古屋市外	28.3	30.6	21.7	10.5	7.1	1.8	100.0	10,494
	宿泊客	2.4	5.1	35.4	29.6	21.7	5.8	100.0	21,596
日帰り客	37.2	39.4	17.0	3.9	2.1	0.4	100.0	6,676	
全体		44.4	27.9	15.5	6.6	4.5	1.1	100.0	7,827

c. 市内交通費

名古屋市内の移動や駐車などで支出する交通費は、全体では「1,000円未満」が54.8%と最も多く、次いで、「1,000～3,000円未満」が18.9%、「交通費はかからない」が18.0%となっている。市内交通費の平均額は906円であり、昨年度(1,039円)と比較すると133円の減額となっている。

観光地点別にみると、全地点とも「1,000円未満」が最も多くなっている。「名古屋城」の入込客では「3,000円以上」の割合も1割みられ、平均額は1,386円と最も高額である。また、「イベント会場」や「名古屋港水族館」などでは「1,000～3,000円未満」の割合が相対的に多く、平均額は900円以上である。一方、「名古屋まつり」では「交通費はかからない」(35.9%)の割合が比較的多く、平均額は434円と低額になっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「1,000～3,000円未満」の割合が最も多く、平均額も1,846円となっている。一方、「名古屋市内」では「交通費はかからない」(34.7%)の割合が比較的多く、平均額は425円である。

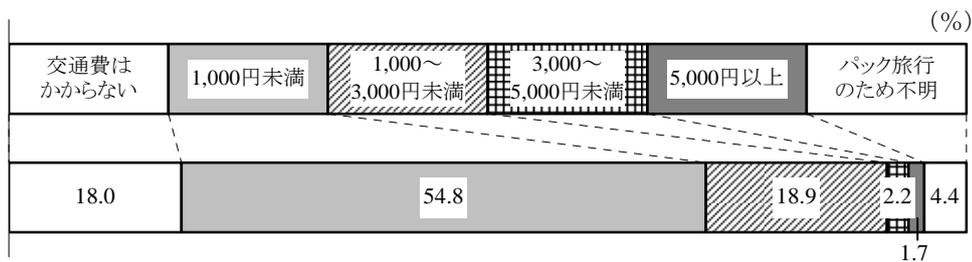


図 2-1-6 入込客の市内交通費

表 2-1-10 入込客の市内交通費 (地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

市内交通費		交通費はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上	パック旅行のため不明	合計	平均額(円)
地点	名古屋城	16.8	45.7	24.7	4.1	6.2	2.5	100.0	1,386
	熱田神宮	22.8	53.0	15.2	1.3	0.8	6.9	100.0	732
	ノリタケの森	22.9	44.7	17.0	2.9	1.8	10.7	100.0	908
	名古屋港水族館	6.9	60.9	24.1	2.6	0.5	5.0	100.0	975
	名古屋まつり	35.9	57.0	6.7	0.4	0.0	0.0	100.0	434
	イベント会場	3.4	70.2	24.5	1.9	0.0	0.0	100.0	917
地域×宿泊	名古屋市	34.7	60.0	4.7	0.5	0.1	0.0	100.0	425
	宿泊客	33.3	33.4	33.3	0.0	0.0	0.0	100.0	833
	日帰り客	34.7	60.0	4.7	0.5	0.1	0.0	100.0	424
	名古屋市外	7.5	51.5	27.9	3.3	2.6	7.2	100.0	1,233
宿泊客	6.6	33.9	38.3	7.2	6.5	7.5	100.0	1,846	
日帰り客	7.8	57.5	24.3	2.0	1.3	7.1	100.0	1,023	
全体		18.0	54.8	18.9	2.2	1.7	4.4	100.0	906

注: 平均額の計算式: $\{(0 \text{円}) \times (\text{「交通費はかからない」の回答者数}) + (500 \text{円}) \times (\text{「1,000円未満」の回答者数}) + (2,000 \text{円}) \times (\text{「1,000～3,000円未満」の回答者数}) + (4,000 \text{円}) \times (\text{「3,000～5,000円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{円}) \times (\text{「5,000円以上」の回答者数})\} / \{(全回答者数) - (\text{「パック旅行のため不明」の回答者数})\}$

d. 市内での土産代

「名古屋市内で土産を購入する」という回答が全体では48.1%とほぼ半数あり、支出額としては、「2,000円未満」(21.9%)や「2,000～5,000円未満」(17.2%)の割合が多い。土産代の平均額は1,785円であり、昨年度(1,580円)と比較すると205円の増額となっている。

観光地点別にみると、「土産を購入する」割合は、「名古屋城」(66.7%)と「ノリタケの森」(64.7%)の入込客では特に多く、「熱田神宮」(53.5%)や「名古屋港水族館」(49.6%)でも半数前後を占める。一方、「名古屋まつり」や「イベント会場」の入込客では購入する割合は2～3割と低く、平均額は1000円に満たない。

地域・宿泊別にみると、「土産を購入する」割合、金額とも、「名古屋市」居住者より「名古屋市外」からの入込客の方が、「名古屋市外」からの入込客では「日帰り客」より「宿泊客」の方がかなり多く、特に「名古屋市外からの宿泊客」では「購入する」割合は9割を占め、平均額は4,933円と高額である。

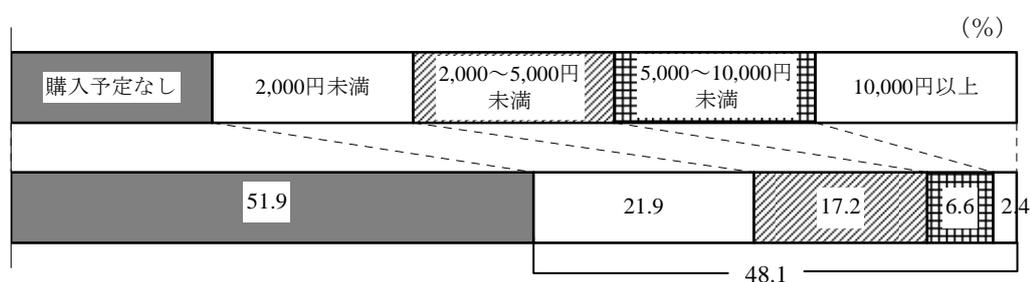


図 2-1-7 入込客の市内での土産代

表 2-1-11 入込客の市内での土産代 (地点・地域×宿泊別)

(単位：%)

地点・地域×宿泊		土産代					合計	平均額 (円)
		買わない	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上		
観光地点	名古屋城	33.3	28.2	23.2	11.1	4.2	100.0	2,766
	熱田神宮	46.5	24.7	20.0	6.9	1.9	100.0	1,845
	ノリタケの森	35.3	19.2	27.5	12.2	5.8	100.0	3,233
	名古屋港水族館	50.4	29.1	16.2	3.3	1.0	100.0	1,300
	名古屋まつり	81.5	13.0	3.8	1.5	0.2	100.0	417
	イベント会場	73.5	14.3	9.1	2.7	0.4	100.0	738
地域×宿泊	名古屋市	70.9	19.8	7.7	1.5	0.1	100.0	597
	宿泊客	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0
	日帰り客	70.8	19.9	7.7	1.5	0.1	100.0	598
	名古屋市外	40.1	23.2	23.2	9.7	3.8	100.0	2,530
	宿泊客	11.6	21.6	36.3	21.2	9.3	100.0	4,933
	日帰り客	49.8	23.8	18.7	5.8	1.9	100.0	1,705
全体		51.9	21.9	17.2	6.6	2.4	100.0	1,785

注：平均額の計算式： $\{(0 \text{円}) \times (\text{「買わない」の回答者数}) + (1,000 \text{円}) \times (\text{「2,000円未満」の回答者数}) + (3,500 \text{円}) \times (\text{「2,000～5,000円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{円}) \times (\text{「5,000～10,000円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{円}) \times (\text{「10,000円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

e. 市内での食事代

市内での食事に係る支出をみると、全体では「2,000 円未満」(44.1%) が最も多く、次いで「2,000～5,000 円未満」が 24.1%、「ジュース程度」が 21.9%となっている。なお、食事代の平均額は 2,429 円であり、昨年度 (2,584 円) と比較すると 155 円の減額となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」と「ノリタケの森」の入込客では「2,000～5,000 円未満」の割合が最も多くなっている。一方、「名古屋港水族館」と「名古屋まつり」、「イベント会場」の入込客では「2,000 円未満」の割合が過半数を占める。また、「熱田神宮」の入込客では「5,000 円未満」の割合が比較的分散している。

地域・宿泊別にみると、「宿泊客」では「2,000～5,000 円未満」の割合が最も多く、特に「名古屋市外からの宿泊客」では「5,000 円以上」も 4 割以上と多く、平均額は 6,926 円と高額である。一方、「日帰り客」では「2,000 円未満」の割合が半数となっている。

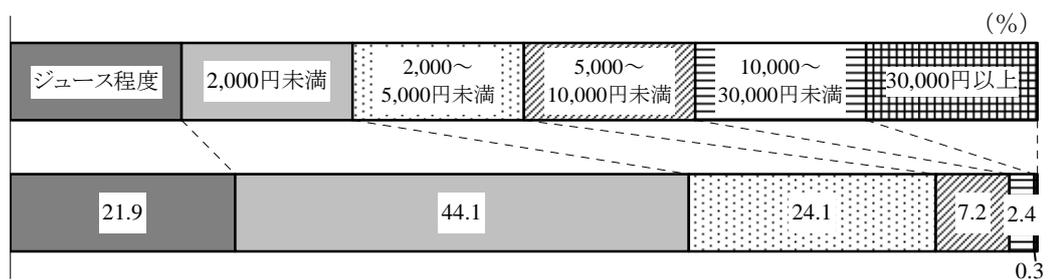


図 2-1-8 入込客の市内での食事代

表 2-1-12 入込客の市内での食事代 (地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

市内食事代		ジュース程度	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000円以上	合計	平均額 (円)
観光地点	名古屋城	9.3	28.6	37.9	17.7	5.6	0.9	100.0	4,423
	熱田神宮	27.5	39.9	24.4	6.5	1.7	0.0	100.0	2,070
	ノリタケの森	21.7	29.9	34.8	9.1	4.0	0.5	100.0	3,199
	名古屋港水族館	18.7	53.9	19.4	5.6	2.1	0.3	100.0	2,176
	名古屋まつり	29.3	54.9	14.3	1.1	0.4	0.0	100.0	1,213
	イベント会場	27.5	62.5	9.2	0.8	0.0	0.0	100.0	1,005
地域×宿泊	名古屋市	32.6	50.5	14.6	1.8	0.4	0.1	100.0	1,282
	宿泊客	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0	4,833
	日帰り客	32.7	50.6	14.5	1.7	0.4	0.1	100.0	1,274
	名古屋市外	15.1	40.1	30.1	10.6	3.7	0.4	100.0	3,160
宿泊客	2.4	14.2	40.4	28.5	12.9	1.6	100.0	6,926	
日帰り客	19.4	49.0	26.5	4.5	0.6	0.0	100.0	1,879	
全体		21.9	44.1	24.1	7.2	2.4	0.3	100.0	2,429

注: 平均額の計算式: $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「ジュース程度」の回答者数}) + (1,000 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 円未満」の回答者数}) + (3,500 \text{ 円}) \times (\text{「2,000～5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～10,000 円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000～30,000 円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000 円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

f. 宿泊代

「名古屋市内に宿泊する」と回答した割合は 15.6%であり、1泊あたりの宿泊代は、「5,000～15,000円未満」（7.0%）の割合が多い。

なお、名古屋市内の宿泊施設に宿泊する方の1泊あたりの宿泊代の平均額は9,883円であり、昨年度（10,316円）と比較すると433円の減額となっている。

観光地点別にみると、「名古屋市内に宿泊する」と回答した割合は「名古屋城」の入込客で38.1%と最も多く、次いで「ノリタケの森」で21.5%、「名古屋港水族館」（13.0%）と「熱田神宮」（12.5%）は13%となっている。一方、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客ではほとんどが「宿泊しない」としている。

「名古屋市外からの宿泊客」では、「5,000～15,000円未満」の割合は44.9%と多い。また、「友人・知人の家に宿泊」が16.1%みられる。

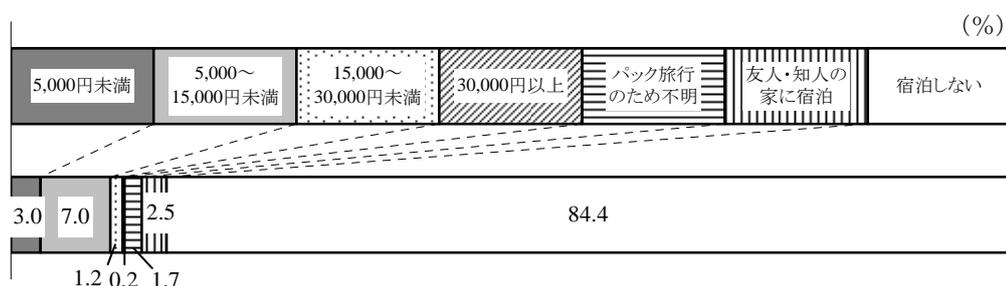


図 2-1-9 入込客の宿泊代

表 2-1-13 入込客の宿泊代（地点・地域×宿泊別）

（単位：%）

地点・地域×宿泊	市内宿泊代							合計	平均額 (円)	
	5,000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	パック旅行のため不明	友人・知人の家に宿泊	宿泊しない			
観光地点	名古屋城	8.0	17.0	4.4	0.9	3.0	4.8	61.9	100.0	10,760
	熱田神宮	1.8	4.9	0.3	0.2	2.9	2.4	87.5	100.0	9,389
	ノリタケの森	3.7	9.8	1.3	0.0	2.9	3.8	78.5	100.0	9,212
	名古屋港水族館	3.3	6.8	0.6	0.0	1.0	1.3	87.0	100.0	8,419
	名古屋まつり	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	1.7	98.1	100.0	10,000
	イベント会場	0.0	0.9	0.2	0.0	0.0	0.4	98.5	100.0	12,083
地域×宿泊	名古屋市	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	99.8	100.0	6,250
	宿泊客	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	6,250
	日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	—
	名古屋市外	4.8	11.4	2.0	0.3	2.8	4.1	74.6	100.0	9,901
宿泊客	18.9	44.9	7.8	1.3	11.0	16.1	0.0	100.0	9,901	
日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	—	
全体	3.0	7.0	1.2	0.2	1.7	2.5	84.4	100.0	9,883	

注：平均額の計算式：{(2,500円)×(「5,000円未満」の回答者数)+(10,000円)×(「5,000～15,000円未満」の回答者数)+(22,500円)×(「15,000～30,000円未満」の回答者数)+(40,000円)×(「30,000円以上」の回答者数)} / {(全回答者数) - (「パック旅行のため不明」の回答者数) - (「友人・知人の家に宿泊」の回答者数) - (「宿泊しない」の回答者数)}

④来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

名古屋市外に居住する方（全体の61.4%）の来名回数としては、「10回以上」が60.5%と最も多く、「今回はじめて」訪れた割合は14.9%である。

「10回以上」の割合は、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客や「愛知県（名古屋市を除く）」居住者では9割以上を占める。一方、「今回はじめて」訪れた割合は、「名古屋城」（33.3%）の入込客や「東海以外」（36.3%）からの入込客では比較的多い。

表 2-1-14 名古屋市外からの入込客の来名回数（地点・地域別）

（単位：％）

観光地点・地域		回数					合計
		はじめて	2回目	3回目	4～9回目	10回以上	
観光地点	名古屋城	33.3	18.7	8.7	9.1	30.2	100.0
	熱田神宮	18.1	7.7	9.7	8.0	56.5	100.0
	ノリタケの森	14.6	11.5	5.7	15.7	52.5	100.0
	名古屋港水族館	9.3	7.2	6.4	9.5	67.6	100.0
	名古屋まつり	0.0	1.5	2.3	4.6	91.6	100.0
	イベント会場	0.0	0.0	0.9	4.0	95.1	100.0
地域	東海	1.3	1.8	2.2	6.0	88.7	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	0.6	0.5	0.4	2.3	96.2	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	2.4	3.7	4.8	11.4	77.7	100.0
	東海以外	36.3	20.9	12.3	14.6	15.9	100.0
全体		14.9	9.2	6.1	9.3	60.5	100.0

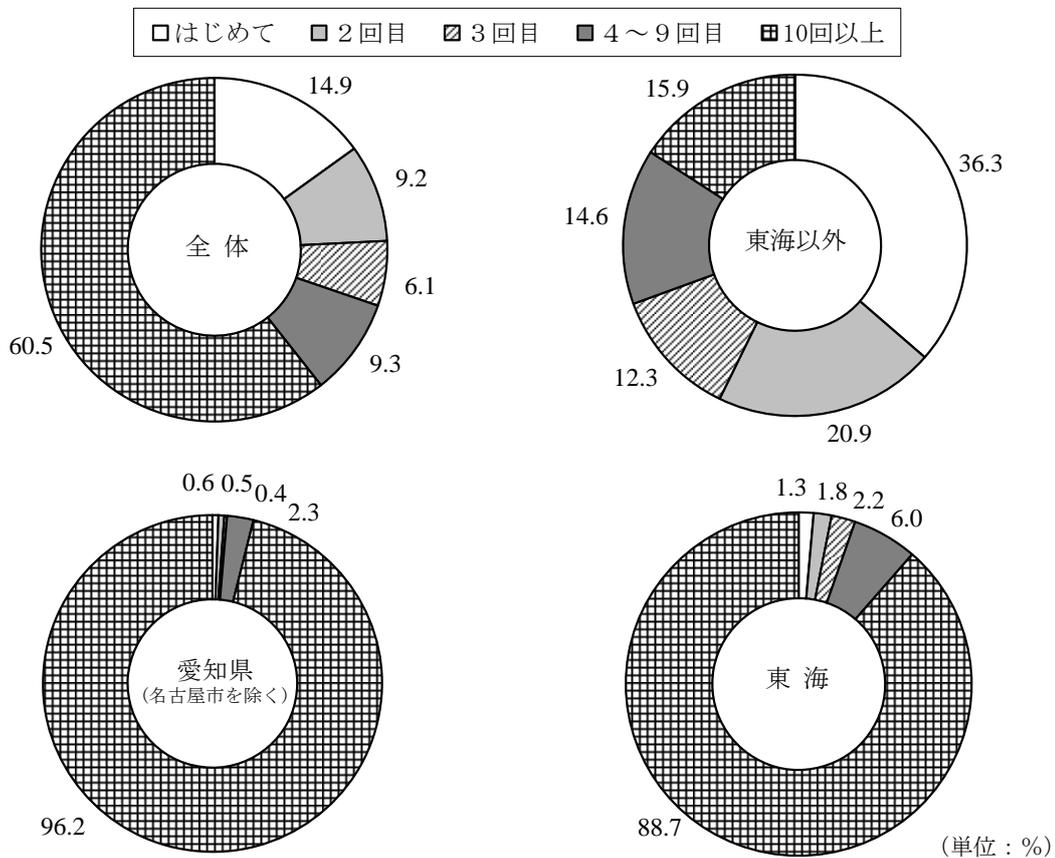


図 2-1-10 入込客の来名回数（地域別）

⑤交通機関

名古屋市外居住者の名古屋市内への主な交通手段は、全体では「自家用車」が50.9%と半数みられ、次いで「JR」(21.3%)、「名鉄電車」(9.5%)、「観光バス」(9.2%)となっている。

観光地点別にみると、「ノリタケの森」の入込客では「JR」の割合が最も高いが、そのほかでは「自家用車」の割合が最も高く、特に「イベント会場」の入込客では8割を超えている。また、「ノリタケの森」の入込客では「観光バス」の割合が、「名古屋まつり」の入込客では「名鉄電車」の割合が相対的に多くなっている。

居住地別にみると、各地域とも「自家用車」が最も多く、特に「東海」内の「愛知県」、「三重県」、「岐阜県」では6割前後となっている。また、「愛知県(名古屋市を除く)」では「名鉄電車」、「岐阜県」と「静岡県」では「JR」、「三重県」では「近鉄電車」、「静岡県」では「観光バス」も比較的多い。一方、「東海以外」からの入込客では「JR」も31.8%と多い。

旅行形態別にみると、「幼児・小学生連れ」など「家族連れ」や「友人・知人」では「自家用車」の割合が、「団体旅行」では「観光バス」の割合が、「ひとり」などでは「JR」の割合が最も多くなっている。

表 2-1-15 名古屋市外からの入込客の交通機関(地点・地域・旅行形態別)

(単位：%)

交通機関		地点・地域・旅行形態										
		J R	名 鉄 電 車	近 鉄 電 車	自 家 用 車	航 空 機	路 線 バ ス	観 光 バ ス	地 下 鉄・ 市バ ス	そ の 他	合 計	
観 光 地 点	名古屋城	23.5	7.1	2.0	49.9	4.3	1.0	5.5	4.1	7.9	105.3	
	熱田神宮	22.1	15.1	2.3	43.8	2.3	1.3	12.7	1.0	2.3	102.9	
	ノリタケの森	37.1	8.8	4.4	24.3	4.2	1.8	21.6	0.7	2.0	104.9	
	名古屋港水族館	11.0	8.1	1.5	63.8	1.3	3.0	8.5	2.3	2.1	101.6	
	名古屋まつり	26.7	26.0	6.1	32.8	0.0	0.8	0.0	16.8	1.5	110.7	
	イベント会場	8.9	4.9	1.7	82.3	0.0	0.3	0.0	0.3	8.3	106.7	
	地 域	東海	14.6	14.6	2.8	58.7	0.0	0.8	5.9	4.5	3.0	104.9
愛知県(名古屋市を除く)		13.0	20.3	0.5	61.5	0.0	0.6	0.3	7.5	2.5	106.2	
岐阜県		19.7	13.5	0.0	54.1	0.0	0.9	10.5	0.0	4.4	103.1	
三重県		5.2	0.0	19.0	57.5	0.0	2.3	14.9	0.0	4.0	102.9	
静岡県		27.0	2.1	0.0	51.8	0.0	0.0	19.1	0.0	2.1	102.1	
	東海以外	31.8	1.5	2.5	38.7	6.2	2.6	14.5	0.0	6.5	104.3	
旅 行 形 態	ひとり	33.2	21.5	4.2	27.1	3.3	2.8	1.4	5.1	10.7	109.3	
	友人・知人	24.4	11.7	2.7	46.8	1.4	2.0	5.6	3.1	6.1	103.8	
	家 族	幼児・小学生連れ	7.8	6.6	0.6	82.1	0.0	0.3	0.6	3.0	1.2	102.2
		夫婦	21.3	6.8	2.9	62.1	3.2	1.3	3.9	1.6	2.1	105.2
		その他	25.1	7.5	4.5	55.4	2.8	1.4	3.1	2.5	1.9	104.2
	団体旅行	9.1	0.6	0.0	3.7	7.3	0.6	79.9	0.0	4.3	105.5	
	その他	46.2	7.7	0.0	15.4	15.4	0.0	0.0	7.7	15.4	107.8	
全 体		21.3	9.5	2.6	50.9	2.4	1.5	9.2	2.7	4.4	104.5	

(複数回答)

⑥名古屋市以外の訪問地

名古屋市外に居住する入込客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」方の割合は全体では19.5%である。その訪問先としては、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」(5.1%)が最も多く、以下、「伊勢・志摩」(3.2%)、「明治村・犬山」(2.7%)、「知多・常滑・セントレア」(2.2%)、「下呂・高山」(2.1%)、「豊田・岡崎・足助」(2.1%)となっている。

観光地点別にみると、「名古屋市以外にも訪問する」という割合は、「ノリタケの森」の入込客では32.0%と高く、「熱田神宮」(25.4%)、「名古屋城」(20.9%)、「名古屋港水族館」(18.2%)の入込客でも2割前後みられる。一方、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客では大半が「名古屋市内のみ」としている。

宿泊客では、「名古屋市以外にも訪問する」という割合が33.7%と高く、訪問先としては「明治村・犬山」(7.5%)が最も多い。

表 2-1-16 名古屋市外からの入込客の訪問地（地点・宿泊別）

(単位：%)

訪問地		訪問地															訪問地合計
		名古屋市内のみ	長島温泉・湯の山・鈴鹿	伊勢・志摩	明治村・犬山	知多・常滑・セントレア	下呂・高山	豊田・岡崎・足助	蒲郡・西浦・三谷	岐阜・関ヶ原	長久手・モリコロパーク	豊橋・伊良湖	多治見・恵那・中津川	豊川・鳳来寺	瀬戸・小原	その他	
観光地点・宿泊																	
観光地点	名古屋城	79.1	3.9	3.2	3.2	1.0	2.6	3.4	0.0	0.8	1.8	0.4	0.4	0.2	0.4	2.6	23.9
	熱田神宮	74.6	5.7	3.7	4.7	4.7	3.0	5.0	2.7	2.0	0.7	1.0	0.3	1.3	0.0	5.0	39.8
	ノリタケの森	68.0	8.6	7.3	3.1	3.1	5.3	1.8	3.5	3.5	0.7	1.3	0.9	0.2	0.0	0.7	40.0
	名古屋港水族館	81.8	6.4	2.1	2.8	3.0	0.2	0.8	1.7	0.8	2.3	0.4	0.0	0.0	0.4	0.2	21.1
	名古屋まつり	96.2	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	3.9
	イベント会場	96.0	1.7	0.0	0.3	0.6	0.0	0.6	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	4.1
宿泊	宿泊客	66.3	4.8	6.1	7.5	3.0	4.5	4.6	1.2	2.1	3.6	1.8	0.5	0.5	0.5	2.9	43.6
	日帰り客	85.3	5.1	2.2	1.1	2.0	1.3	1.2	1.5	1.2	0.4	0.2	0.3	0.2	0.1	1.1	17.9
全体		80.5	5.1	3.2	2.7	2.2	2.1	2.1	1.5	1.4	1.2	0.6	0.4	0.3	0.2	1.5	24.5

(複数回答)

⑦旅行日程

名古屋市以外からの入込客の旅行日程としては、「日帰り」が65.4%であり、「2日」(23.4%)、「3日」(8.6%)など「2日以上」の割合は合わせて34.6%となっている。

観光地点別にみると、「2日以上」の割合は、「名古屋城」の入込客では61.4%と高く、「ノリタケの森」(45.5%)、「熱田神宮」(39.2%)の入込客でも比較的高い。一方、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客では「日帰り」の割合が9割を超えている。

居住地別にみると、「東海」居住者では大半が「日帰り」である。一方、「その他」(98.9%)からの入込客ではほとんど、「関東」(85.9%)、「甲信越」(85.0%)からの入込客では9割弱が「2日以上」であり、「北陸」(66.7%)、「近畿」(64.6%)からの入込客でも「2日以上」の割合は6割以上を占めている。

表 2-1-17 名古屋市外からの入込客の旅行日程（地点・地域別）

(単位：%)

観光地点・地域		日 程					合 計
		日帰り	2日	3日	4日	5日以上	
観 光 地 点	名古屋城	38.6	43.4	13.4	2.2	2.4	100.0
	熱田神宮	60.8	24.1	10.4	2.7	2.0	100.0
	ノリタケの森	54.5	28.5	13.9	0.7	2.4	100.0
	名古屋港水族館	75.7	18.4	5.1	0.4	0.4	100.0
	名古屋まつり	91.7	5.3	1.5	0.0	1.5	100.0
	イベント会場	97.2	1.4	1.1	0.0	0.3	100.0
地 域	東 海	94.4	4.2	1.3	0.0	0.1	100.0
	関 東	14.1	52.7	26.5	3.2	3.5	100.0
	近 畿	35.4	52.3	9.1	1.6	1.6	100.0
	北 陸	33.3	54.4	9.9	1.2	1.2	100.0
	甲信越	15.0	66.7	13.3	1.7	3.3	100.0
	その他	1.1	52.0	33.3	5.1	8.5	100.0
全 体		65.4	23.4	8.6	1.1	1.5	100.0

⑧市内での宿泊数

名古屋市以外からの入込客の中で「日帰り」を除いた方（全体の21.3%）のうち、名古屋市内に宿泊する割合は73.6%である。その泊数としては、「1泊」する割合が54.0%と最も高く、「2泊」する割合が16.3%となっている。

全ての階層で「1泊」の割合が最も高い。

観光地点別にみると、「名古屋市内には宿泊しない」とする割合は「ノリタケの森」や「熱田神宮」では3割に達している。

居住地別にみると、「名古屋市内には宿泊しない」とする割合は「甲信越」や「東海」、「その他」からの入込客で4割弱と比較的多い。また、「2泊以上」する割合は「近畿」と「北陸」、「甲信越」からの入込客では1割前後と低い。

表 2-1-18 名古屋市外からの入込客の名古屋市内における宿泊数（地点・地域別）

（単位：％）

観光地点・地域		市内宿泊数					合 計
		宿泊しない	1 泊	2 泊	3 泊	4 泊以上	
観 光 地 点	名古屋城	18.5	61.7	17.8	0.7	1.3	100.0
	熱田神宮	33.3	51.3	12.8	0.9	1.7	100.0
	ノリタケの森	34.5	41.2	19.9	1.0	3.4	100.0
	名古屋港水族館	27.9	60.0	8.7	1.7	1.7	100.0
	名古屋まつり	9.1	54.5	18.2	0.0	18.2	100.0
	イベント会場	20.0	50.0	20.0	0.0	10.0	100.0
地 域	東 海	36.0	45.3	16.0	0.0	2.7	100.0
	関 東	17.3	56.8	21.4	1.2	3.3	100.0
	近 畿	25.0	64.1	9.1	0.6	1.2	100.0
	北 陸	16.7	68.4	13.0	0.0	1.9	100.0
	甲信越	39.2	52.9	5.9	2.0	0.0	100.0
	その他	35.4	40.6	20.0	1.1	2.9	100.0
全 体		26.4	54.0	16.3	0.9	2.4	100.0

⑨高速道路の利用

a. ETC・高速道路利用の有無

秋期調査等で主な交通手段として自家用車を利用した方（1,056名）のうち、「高速道路を利用した」割合は45.0%であり、うち「ETCで利用した」割合が42.2%となっている。

観光地点別にみると、「高速道路を利用した」とする割合は「名古屋城」（65.4%）や「ノリタケの森」（55.7%）、「イベント会場」（50.9%）では過半数を占めている。一方、「熱田神宮」と「名古屋まつり」では2割台と少ない。

居住地別にみると、「静岡県」や「東海以外」からの入込客では大半が「高速道路を利用」しており、「ETCで利用」も9割を超え、「三重県」や「岐阜県」でも半数以上が「ETCを利用」している。一方、「名古屋市内」居住者では「利用」割合は1割程度である。

観光施設において平日と土日別にみると、「ETCで利用した」割合は料金割引が適用される土・日で平日より4ポイント高くなっている。

表 2-1-19 自動車での入込客のETC・高速道路利用の有無（地点・地域・調査日別）

（単位：％）

観光地点・地域・調査日		ETC・高速道路利用			合計
		ETCで利用した	ETCではないが利用	利用していない	
観光地点	名古屋城	63.0	2.4	34.6	100.0
	熱田神宮	23.5	3.1	73.4	100.0
	ノリタケの森	53.2	2.5	44.3	100.0
	名古屋港水族館	34.0	4.5	61.5	100.0
	名古屋まつり	22.2	0.0	77.8	100.0
	イベント会場	48.3	2.6	49.1	100.0
地域	東海	33.9	3.0	63.1	100.0
	名古屋市	10.7	0.8	88.5	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	38.9	3.7	57.4	100.0
	岐阜県	51.0	4.2	44.8	100.0
	三重県	72.5	6.3	21.2	100.0
	静岡県	90.3	6.5	3.2	100.0
	東海以外	95.1	2.1	2.8	100.0
観光施設 調査日	平日	37.1	3.3	59.6	100.0
	土・日	41.2	3.4	55.4	100.0
全 体		42.2	2.8	55.0	100.0

b. 利用した高速道路

高速道路を利用した方（自家用車利用者の45.0%）が利用した高速道路は、全体では「伊勢湾岸自動車道」が46.1%と最も多く、次いで「名古屋高速道路」（25.3%）と「東名高速道路」（24.6%）が2割台、「名神高速道路」（15.9%）と「東名阪自動車道」（13.0%）が1割台となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」と「名古屋港水族館」では「東名高速道路」、「熱田神宮」と「ノリタケの森」では「名古屋高速道路」、「イベント会場」では「伊勢湾岸自動車道」の割合が最も高くなっている。

居住地別にみると、「名古屋市内」と「岐阜県」では「名古屋高速道路」、「愛知県（名古屋市を除く）」では「伊勢湾岸自動車道」、「三重県」では「伊勢湾岸自動車道」と「東名阪自動車道」、「静岡県」と「関東」では「東名高速道路」、「近畿」や「その他」では「名神高速道路」、「北陸」では「東海北陸自動車道」と「名神高速道路」、「甲信越」では「中央自動車道」を利用する割合がそれぞれ高くなっている。

表 2-1-20 高速道路利用入込客の利用した道路（地点・地域別）

（単位：％）

利用高速道路		名神 高速 道路	東名 高速 道路	中央 自 動 車 道	東 海 北 陸 自 動 車 道	伊 勢 湾 岸 自 動 車 道	東 名 阪 自 動 車 道	名 古 屋 高 速 道 路	知 多 半 島 道 路	合 計
観 光 地 点	名古屋城	36.6	47.6	12.2	6.1	6.1	9.8	30.5	2.4	151.3
	熱田神宮	16.3	9.3	0.0	2.3	4.7	20.9	58.1	11.6	123.2
	ノリタケの森	29.5	34.1	2.3	2.3	2.3	31.8	43.2	2.3	147.8
	名古屋港水族館	20.0	40.0	9.3	8.0	25.3	9.3	25.3	1.3	138.5
	名古屋まつり	25.0	31.3	12.5	12.5	6.3	12.5	25.0	6.3	131.4
	イベント会場	2.8	10.9	2.8	2.4	89.6	10.0	12.8	2.8	134.1
	地 域	東 海	5.1	18.6	1.8	1.2	59.5	13.5	27.3	4.2
名古屋市		2.4	2.4	0.0	2.4	39.0	7.3	68.3	2.4	124.2
愛知県（名古屋市を除く）		2.7	14.2	0.7	0.0	77.7	2.0	16.9	8.1	122.3
岐阜県		15.7	17.6	9.8	5.9	25.5	15.7	52.9	0.0	143.1
三重県		6.3	1.6	0.0	0.0	66.7	47.6	15.9	1.6	139.7
静岡県		0.0	100.0	0.0	0.0	40.0	3.3	3.3	0.0	146.6
関 東		0.0	89.8	12.2	0.0	6.1	10.2	22.4	0.0	140.7
近 畿		78.7	10.6	2.1	0.0	23.4	17.0	23.4	4.3	159.5
北 陸		58.3	8.3	8.3	66.7	8.3	4.2	16.7	0.0	170.8
甲信越		12.5	0.0	100.0	0.0	37.5	0.0	25.0	0.0	175.0
その他	60.0	30.0	30.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	140.0	
全 体		15.9	24.6	5.5	4.2	46.1	13.0	25.3	3.4	138.0

（複数回答）

c. 名古屋エリアにおけるETC料金割引社会実験の認知

秋期調査等で主な交通手段として自家用車を利用した方で、名古屋高速道路や知多半島道路のETC料金割引社会実験（休日3割引）を「知っていた」割合は63.0%となっている。

居住地別にみると、「知っていた」とする割合は「名古屋市」や「愛知県」では7割以上、「岐阜県・三重県・静岡県」では半数であるが、「東海以外」からの入込客では2割と低い。

性別にみると、認知度は男性で女性より6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、認知度は総じて高く、特に30歳代と50～69歳では7割と高い。

表 2-1-21 自動車での入込客の名古屋エリアでのETC料金割引社会実験の認知（地域・性別・年齢別）

（単位：％）

地域・性別・年齢		ETC料金割引認知		
		知っていた	知らなかった	合計
地域	東海	69.8	30.2	100.0
	名古屋市	77.7	22.3	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	74.7	25.3	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	47.8	52.2	100.0
	東海以外	19.0	81.0	100.0
性別	男性	65.6	34.4	100.0
	女性	60.0	40.0	100.0
年齢	10～19歳	55.6	44.4	100.0
	20～29歳	49.7	50.3	100.0
	30～39歳	67.2	32.8	100.0
	40～49歳	63.7	36.3	100.0
	50～59歳	67.4	32.6	100.0
	60～69歳	68.3	31.7	100.0
	70歳以上	58.5	41.5	100.0
全体		63.0	37.0	100.0

d. 割引による行動の変化

秋期調査等で主な交通手段として自家用車を利用した方で、ETC料金割引により行動に変化があると答えた方の割合は35.9%であり、その行動の変化としては「お出かけの回数が増える」が23.7%、「高速道路を積極的に利用する」が14.1%となっている。

居住地別にみると、「東海以外」からの入込客では「遠方まで出かけられるようになる」(14.2%)の割合が相対的に多い。

性別にみると、女性では「お出かけの回数が増える」、男性では「高速道路を積極的に利用する」が相対的に多い。

年齢別にみると、「特に変化がない」の割合は30～40歳代でやや高い。20歳代では「お出かけの回数が増える」の割合が相対的に低く、「高速道路を積極的に利用する」や「遠方まで出かけられるようになる」が相対的に多い。

表 2-1-22 自動車での入込客のETC料金割引による行動の変化（地域・性別・年齢別）

(単位：%)

地域・性別・年齢		行動の変化						
		お出かけの回数が増える	高速道路を積極的に利用する	外出先で食事や土産の支出が増える	遠方まで出かけられるようになる	特に変化はない	その他	合計
地域	東海	24.0	14.3	1.7	4.4	65.4	0.7	110.5
	名古屋市	23.1	13.4	1.7	3.7	65.4	0.6	107.9
	愛知県（名古屋市を除く）	24.7	14.4	2.0	4.6	66.4	0.9	113.0
	岐阜県・三重県・静岡県	24.1	15.8	1.0	5.4	63.5	0.5	110.3
	東海以外	22.0	12.8	5.0	14.2	56.0	0.0	110.0
性別	男性	21.9	15.4	1.8	5.0	64.8	0.2	109.1
	女性	25.8	12.6	2.5	6.6	63.3	1.0	111.8
年齢	10～19歳	29.6	11.1	0.0	11.1	59.3	0.0	111.1
	20～29歳	18.7	18.1	2.2	9.9	59.9	1.1	109.9
	30～39歳	22.7	12.9	1.9	7.6	66.3	0.4	111.8
	40～49歳	23.6	11.8	2.3	1.8	67.7	0.0	107.2
	50～59歳	28.1	15.8	1.2	3.5	62.0	1.2	111.8
	60～69歳	24.8	13.1	3.6	6.6	64.2	0.0	112.3
	70歳以上	26.8	14.6	2.4	0.0	61.0	2.4	107.2
全体		23.7	14.1	2.1	5.8	64.1	0.6	110.4

(複数回答)

⑩名古屋の観光の評価

a. 名古屋の印象・旅行の満足度

春期調査で名古屋市外居住者（春期調査の 72.3%）の名古屋の印象・旅行の満足度としては、全体では「ほぼ満足」が 48.6%と半数を占め、「大変満足」が 23.5%で合わせた 72.1%が満足と評価している。「普通」が 25.8%であり、「やや不満」（2.1%）が僅か、「不満」は皆無となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」の入込客では「大変満足」が 34.5%と施設の中で最も高く、「ほぼ満足」を合わせると 84.9%となっている。「ノリタケの森」と「名古屋港水族館」でも合わせて 72～73%が満足と評価は高いが、「熱田神宮」の入込客では「普通」が 44.0%と比較的多くなっている。

居住地別にみると、「東海」の各地域より「東海以外」からの入込客の方が満足度は高く、特に「関東」と「甲信越」では満足の割合は 8 割前後となっている。

性別による大きな差異はみられない。

年齢別にみると、「大変満足」の割合は 29 歳以下の若い年代と 70 歳以上の高年齢層で 3 割以上と多い。

表 2-1-23 名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

印象・満足度		大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	合計
観光地点	名古屋城	34.5	50.4	14.0	1.1	0.0	100.0
	熱田神宮	10.2	41.8	44.0	4.0	0.0	100.0
	ノリタケの森	22.0	50.0	27.6	0.4	0.0	100.0
	名古屋港水族館	22.6	50.7	23.4	3.3	0.0	100.0
地域	東海	22.1	45.8	30.0	2.1	0.0	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	25.4	41.4	30.6	2.6	0.0	100.0
	岐阜県	12.9	53.2	30.7	3.2	0.0	100.0
	三重県	17.9	55.3	26.8	0.0	0.0	100.0
	静岡県	22.5	46.2	30.0	1.3	0.0	100.0
	関東	29.4	47.7	20.9	2.0	0.0	100.0
	近畿	22.3	52.2	24.2	1.3	0.0	100.0
	北陸	25.6	48.7	18.0	7.7	0.0	100.0
	甲信越	21.4	60.7	17.9	0.0	0.0	100.0
その他	21.9	53.3	22.9	1.9	0.0	100.0	
性別	男性	25.4	46.2	25.9	2.5	0.0	100.0
	女性	21.9	50.6	25.7	1.8	0.0	100.0
年齢	10～19歳	33.3	43.1	22.2	1.4	0.0	100.0
	20～29歳	31.8	46.4	20.6	1.2	0.0	100.0
	30～39歳	20.0	46.6	28.7	4.7	0.0	100.0
	40～49歳	14.7	50.5	33.9	0.9	0.0	100.0
	50～59歳	11.2	62.9	23.8	2.1	0.0	100.0
	60～69歳	24.3	43.7	29.9	2.1	0.0	100.0
	70歳以上	30.9	42.9	23.8	2.4	0.0	100.0
全体		23.5	48.6	25.8	2.1	0.0	100.0

b. 満足した名古屋の観光資源

春期調査の名古屋市外居住者が満足した名古屋の観光資源としては、全体では「歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）」が45.9%と最も高く、「レジャー施設（動植物園、水族館等）」が22.5%、「産業観光・ものづくりの施設（産業記念館、ノリタケの森等）」が21.1%で続き、「グルメ・なごやめし」が8.9%、「都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）」が5.1%となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」と「熱田神宮」の入込客では「歴史的な施設」、「ノリタケの森」の入込客では「産業観光・ものづくり施設」、「名古屋港水族館」の入込客では「レジャー施設」の割合がかなり高く、訪れた施設についての評価は良好である。そのほか「熱田神宮」と「ノリタケの森」の入込客では「グルメ・なごやめし」の割合が1割以上みられる。

観光施設以外の観光資源について居住地別にみると、「関東」と「近畿」からの入込客では「グルメ・なごやめし」、「北陸」からの入込客では「ショッピングや街歩き」、「甲信越」からの入込客では「スポーツ観戦」がそれぞれ1割以上となっている。

観光施設以外の観光資源について年齢別にみると、20～30歳代では「グルメ・なごやめし」や「ショッピングや街歩き」の割合が相対的に高くなっている。

表 2-1-24 名古屋市外からの入込客の満足した名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

地点・地域・性別・年齢	満足した観光資源											
	歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	や観劇鑑賞	コンサート	観戦	スポーツ	その他	特になし
観光地点	名古屋城	90.2	1.1	0.4	3.0	7.2	0.8	1.5	1.5	0.0	6.0	111.7
	熱田神宮	70.0	0.6	3.3	6.1	10.0	0.0	0.6	1.7	0.0	19.4	111.7
	ノリタケの森	19.3	78.5	2.6	3.4	11.6	0.0	0.9	0.0	0.4	7.7	124.4
	名古屋港水族館	4.6	2.9	80.8	8.3	7.5	1.3	0.4	0.4	0.8	9.2	116.2
地域	東海	32.3	20.0	32.9	4.8	3.9	0.7	0.2	0.0	0.5	12.9	108.2
	愛知県	35.5	14.1	31.6	6.8	4.7	1.3	0.4	0.0	0.4	13.7	108.5
	岐阜県	29.0	14.5	43.5	3.2	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.9	107.9
	三重県	23.2	44.6	23.2	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.7	103.5
	静岡県	31.7	24.4	35.4	2.4	3.7	0.0	0.0	0.0	1.2	12.2	111.0
	関東	66.7	19.0	9.2	7.2	17.6	1.3	1.3	2.6	0.0	6.5	131.4
	近畿	62.4	21.7	12.1	3.2	15.3	0.0	0.6	0.6	0.6	5.1	121.6
	北陸	66.7	2.6	20.5	15.4	7.7	0.0	2.6	0.0	0.0	10.3	125.8
	甲信越	34.5	13.8	34.5	6.9	6.9	0.0	3.4	10.3	0.0	10.3	120.6
その他	42.5	36.8	12.3	1.9	8.5	0.0	1.9	0.0	0.0	9.4	113.3	
性別	男性	46.2	16.7	23.3	5.7	8.8	0.5	1.2	1.5	0.2	11.8	115.9
	女性	45.6	24.7	21.9	4.7	9.0	0.6	0.6	0.4	0.4	8.4	116.3
年齢	10～19歳	51.4	5.6	26.4	6.9	6.9	0.0	2.8	1.4	1.4	8.3	111.1
	20～29歳	49.4	6.7	29.6	9.5	13.4	0.8	1.2	2.0	0.0	8.3	120.9
	30～39歳	41.1	11.3	29.1	7.9	13.2	0.7	0.0	1.3	0.0	13.9	118.5
	40～49歳	36.9	29.7	27.9	2.7	4.5	0.9	1.8	0.0	0.9	9.9	115.2
	50～59歳	47.6	35.0	16.8	2.1	6.3	0.0	0.0	0.0	0.7	6.3	114.8
	60～69歳	48.3	37.2	7.6	0.0	5.5	0.7	0.7	0.0	0.0	12.4	112.4
	70歳以上	41.9	44.2	7.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.6	107.0
全体	45.9	21.1	22.5	5.1	8.9	0.5	0.9	0.9	0.3	9.9	116.0	

（複数回答）

ｃ. 不満を感じた名古屋の観光資源

春期調査の名古屋市外居住者が不満を感じた名古屋の観光資源については、「特になし」が95.5%と大半を占め、個別の観光資源としては不満を感じた割合が1%に達するものはみられない。

各属性別にみても、全ての階層で「特になし」は9割以上と大半を占め、個別の観光資源として不満を感じた割合が目立つものは皆無である。

表 2-1-25 名古屋市外からの入込客の不満を感じた名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

(単位：%)

不満を感じた観光資源		施設	歴史的な	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	観劇鑑賞	コンサート	観戦	スポーツ	その他	特になし	合計
観光地点	名古屋城	0.4	0.0	0.0	0.8	0.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	96.4	100.0	
	熱田神宮	1.1	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	97.7	100.0	
	ノリタケの森	0.0	1.7	0.0	0.0	0.4	0.4	0.4	0.4	0.0	0.0	3.4	94.0	100.3	
	名古屋港水族館	0.4	0.8	2.1	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	1.3	94.2	100.0	
地域	東海	0.0	0.0	1.2	0.2	0.5	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.7	97.2	100.0	
	愛知県	0.0	0.0	1.3	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	97.4	100.0	
	岐阜県	0.0	0.0	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.2	100.0	
	三重県	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	98.2	100.0	
	静岡県	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	97.6	100.0	
	関東	1.3	0.0	0.0	1.3	0.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	92.7	100.0	
	近畿	0.6	2.6	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	92.2	100.6	
	北陸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	94.8	100.0	
	甲信越	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	93.2	100.0	
その他	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98.0	100.0	
性別	男性	0.7	0.7	0.7	0.5	1.0	0.5	0.0	0.2	0.0	0.2	1.2	94.5	100.0	
	女性	0.2	0.6	0.4	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	2.0	96.4	100.2	
年齢	10～19歳	0.0	1.4	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	91.6	100.0	
	20～29歳	0.8	0.0	0.8	0.8	0.8	0.4	0.0	0.4	0.0	0.4	2.4	93.6	100.0	
	30～39歳	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	96.5	100.0	
	40～49歳	0.0	0.9	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98.2	100.0	
	50～59歳	0.0	0.7	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	97.2	100.0	
	60～69歳	0.7	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	95.1	100.7	
	70歳以上	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	97.7	100.0	
全体	0.4	0.7	0.6	0.3	0.6	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	1.7	95.5	100.2		

(複数回答)

d. 次回訪れてみたい名古屋の観光資源

春期調査の名古屋市外居住者が次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」とした割合は78.3%であり、「歴史的な施設」の割合が34.4%と最も多く、「グルメ・なごやめし」(20.1%)と「ショッピングや街歩き」(18.4%)が2割程度、「レジャー施設」(12.5%)と「お祭り・イベント」(11.2%)が1割台で、そのほかの観光資源は1割弱となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」と「ノリタケの森」の入込客では「歴史的な施設」が最も高くなっている。「名古屋港水族館」の入込客では「ショッピングや街歩き」、「レジャー施設」など割合は比較的分散している。一方、「熱田神宮」の入込客は「特になし」が30.6%と多い。

居住地別にみると、全ての地域で「歴史的な施設」が最も多い。また「静岡県」と「甲信越」からの入込客では「ショッピングや街歩き」、「関東」と「近畿」からの入込客では「グルメ・なごやめし」がそれぞれ3割程度みられる。

年齢別にみると、19歳以下では「ショッピングや街歩き」が、20歳以上では「歴史的な施設」が最も高くなっている。20～30歳代では「グルメ・なごやめし」、30歳代では「レジャー施設」の割合も相対的に高くなっている。一方、60歳以上では「特になし」の割合が高く、特に70歳以上では半数近い。

表 2-1-26 名古屋市外からの入込客の次回訪れてみたい名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

(単位：%)

観光地点	訪れてみたい観光資源	施設	歴史的な	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	観劇鑑賞	観戦	スポーツ	その他	特になし	合計
		施設	な	の	施設	グ	な	イ	や	観	ス	そ	特	合
観光地点	名古屋城	55.1	7.5	12.5	19.6	24.5	18.5	10.2	8.7	0.8	10.2	167.6		
	熱田神宮	27.2	5.0	8.9	15.6	23.3	6.7	8.3	3.3	1.7	30.6	130.6		
	ノリタケの森	32.5	9.8	10.3	16.7	16.2	8.5	5.6	4.7	0.9	24.4	129.6		
	名古屋港水族館	18.8	9.2	17.5	20.8	16.7	9.2	8.8	15.0	1.7	25.0	142.7		
地域	東海	28.3	6.7	13.8	20.5	17.7	11.1	11.1	9.7	0.9	25.1	144.9		
	愛知県	28.6	6.0	15.8	17.1	17.1	11.5	12.4	10.3	1.3	26.1	146.2		
	岐阜県	27.4	11.3	17.7	25.8	22.6	8.1	8.1	6.5	1.6	25.8	154.9		
	三重県	26.8	12.5	16.1	16.1	12.5	14.3	14.3	3.6	0.0	26.8	143.0		
	静岡県	29.3	1.2	3.7	29.3	19.5	9.8	7.3	14.6	0.0	20.7	135.4		
	関東	32.7	7.8	13.7	20.3	26.1	15.0	6.5	7.2	1.3	15.7	146.3		
	近畿	46.2	13.3	12.0	10.8	29.7	10.8	6.3	5.7	1.9	15.2	151.9		
	北陸	38.5	7.7	7.7	23.1	10.3	12.8	7.7	2.6	2.6	17.9	130.9		
	甲信越	34.5	13.8	10.3	27.6	17.2	0.0	3.4	10.3	3.4	24.1	144.6		
	その他	42.5	4.7	8.5	14.2	11.3	9.4	3.8	9.4	0.0	26.4	130.2		
性別	男性	34.3	7.6	11.8	17.4	18.1	11.5	8.1	11.5	1.0	24.0	145.3		
	女性	34.4	8.4	13.1	19.2	21.7	11.0	8.4	5.7	1.4	19.8	143.1		
年齢	10～19歳	25.0	8.3	6.9	31.9	15.3	15.3	9.7	12.5	1.4	20.8	147.1		
	20～29歳	30.8	6.7	11.9	25.3	28.5	13.8	9.5	15.4	0.8	15.8	158.5		
	30～39歳	35.1	12.6	21.9	17.9	26.5	11.9	9.3	8.6	0.0	19.9	163.7		
	40～49歳	30.6	6.3	14.4	20.7	19.8	8.1	8.1	8.1	5.4	14.4	135.9		
	50～59歳	38.5	6.3	12.6	13.3	16.8	9.8	4.9	2.1	1.4	22.4	128.1		
	60～69歳	41.8	9.6	7.5	7.5	9.6	10.3	8.2	2.1	0.0	30.8	127.4		
	70歳以上	39.5	4.7	4.7	4.7	4.7	2.3	7.0	0.0	0.0	48.8	116.4		
全体	34.4	8.1	12.5	18.4	20.1	11.2	8.3	8.3	1.2	21.7	144.2			

(複数回答)